

北海道本島におけるアキノタンポポモドキ *Scorzoneroides autumnalis* (L.) Moench の初記録

釧路市 深津 恵太¹
釧路市 加藤 ゆき恵²
釧路市 高嶋 八千代³

アキノタンポポモドキ *Scorzoneroides autumnalis* (L.) Moench はキク科の多年草で道路脇や牧草地、開けた場所に生育し (Bogler 2006)、ヨーロッパから西シベリアにかけて広範囲に自然分布 (Meusel and Jäger 1992)、北アメリカ、カムチャツカ、朝鮮半島、沿海地方、千島列島に外来種として分布している (Plants of the World Online, <https://powo.science.kew.org/taxon/urn:lsid:ipni.org:names:77180704-1>、2023 年 10 月 24 日参照)。日本国内では北方四島の色丹島、国後島、択捉島で過去に標本が採取されており、千島列島では普通に見られる外来種である (Fukuda et al. 2014)。北海道本島では石狩 (札幌) で標本不明の疑わしい記録はあるが (伊藤ほか 1987)、確かな分布情報はない。筆者らは北海道東部に位置する野付半島の先端部 (以下、野付崎) 及び根室半島において本種を確認したため報告する。

なお、アキノタンポポモドキに対してこれまで *Leontodon* *autumnalis* L. の学名が用いられてきたが、*Leontodon* は近年の分子系統学的研究により *L. subg.*

Leontodon と *L. subg. Oporinia* の 2 系統に分けられ、そのうち *L. subg. Oporinia* は *Scorzoneroides* に属名が変更された (Samuel et al. 2006, Greuter et al. 2006)。そのため本報告では *Scorzoneroides autumnalis* (L.) Moench を用いる。

野付崎での発見と種同定

1 生育地

2020 年 7 月に北海道野付郡別海町野付ポンニクル周辺において筆者のうち深津が

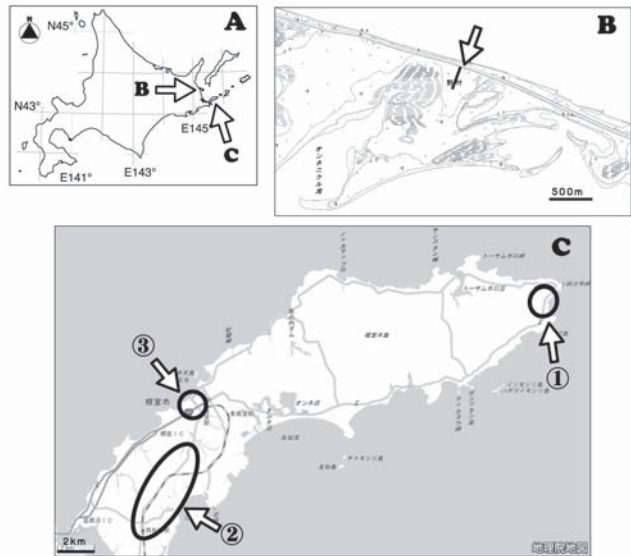


図1 アキノタンポポモドキ *Scorzoneroides autumnalis* 生育地
A 北海道全体図
B 野付崎：矢印の先の実線に分布する
C 根室：①～③の丸で囲んだ地域で見られた
(地理院地図〈電子国土 Web〉を使用)